

かざま うら

議会だより



役場・消防庁舎建設場所の視察

No. 117

令和6年7月発行

■発行:青森県風間浦村議会
■編集:議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2111
FAX 0175-35-2403

目次

- 定例会のあらまし・・・P 2
- 全協・各種委員会報告・・・P 3
 - 役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会
 - 議会運営委員会
 - 全員協議会
 - 大間原子力発電所対策特別委員会
- 一般質問・・・P 7
- 議会活動・・・P10
- ちょっと一言・編集後記・・・P12



富岡 宏 村長

6月 定例会 めらまし



能登 勝彦 議長

会期：令和6年6月11日から12日までの2日間

案件：報告事項1件、専決処分2件、条例等2件、契約の締結1件、損害賠償1件、補正予算2件

結果：全議案を全会一致で承認及び可決。

6月定例会

報告事項

◆令和5年度風間浦村一般会計繰越明許費繰越計算書

役場庁舎等建設事業を含む6事業について、翌年度へ繰越する事業及び繰越額3千460万2千円が確定のため報告。

専決処分 全会一致承認

◆条例一部改正

◆風間浦村税条例の一部を改正する条例

個人住民税の特別税額控除及び土地に係る固定資産税の負担調整措置等の改正。

◆風間浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

後期高齢者支援分の上限を引き上げる等の改正。

◆補正予算

既定の歳入歳出予算に1千916万3千円を追加し、総額を29億7千895万9千円とする。

歳入の主なもの

- ・特別交付税6千824万円の追加
- ・財政調整基金繰入金2千210万円の減額
- ・歳出の主なもの
- ・下北地域広域行政事務組合負担金（ごみ処理施設整備事業）860万円の減額
- ・財政調整基金積立金8千700万円の追加

条例 全会一致可決

◆風間浦村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

これまでの書面での掲示を見直し、インターネットを利用して公衆の閲覧に供することとする。

◆青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更

共同処理する事務のうち市町村税等の滞納整理に関する事務に森林環境税に係る徴収金を加えることとなるための規約変更。

契約の締結 全会一致可決

◆役場庁舎等整備事業造成工事の契約締結

契約締結をするため議決を求めるもの。
契約額…2億3千727万円

損害賠償案件 全会一致可決

◆地域情報通信施設破損事故に係る損害賠償の和解

工事中に誤って施設を破損させたものに対して、損害賠償額として相手方が負担することについて、和解するためのもの。

補正予算 全会一致可決

◆令和6年度一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に7千640万4千円を追加し、総額を34億5千408万5千円とする。

歳入の主なもの

- ・ 国庫支出金における地方創生臨時交付金 1千344万3千円の追加
- ・ 核燃料物質等取扱税交付金 5千867万7千円の追加

歳出の主なもの

- ・ 村民支援商品券事業補助金 904万円の計上
- ・ デイサービス入浴リフト購入費 416万2千円の計上
- ・ 低所得世帯支援給付金 500万円の計上
- ・ 省エネ家電等購入促進事業補助金 100万円の追加
- ・ ゆかい村再発見プロジェクト事業委託料 244万9千円の計上

◆令和6年度風間浦村簡易水道事業会計補正予算

職員共済費等に15万4千円を追加する。

役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会

4月26日開催

(欠席委員なし)



杉山 太 委員長

○現場視察

始めに庁舎建設地の視察を行い、請負業者より説明を受けた。次に残土捨て場計画地の視察を行った。

○庁舎等整備事業造成工事について

令和6年度は、立木の伐採、敷地造成、残土処理、防風柵工、水道配水管敷設工事、張芝工事、植栽工及び消火栓設置工などを行う。残土の処理場所の面積は約5千平米。

いうことはないので、極力迷惑がかららないような対策をする。

○消防庁舎建設実施設計について

○役場庁舎等建設実施設計について

建設事業用地の取得については、地権者全員との土地売買契約及び所有権移転登記が終了し、完了が4月となる。工事の入札発注は5月下旬。

問 残土処理の車両が現場から残土の処理場所まで行くルートは、決まったのか。

答 野球場と保育所の間の村道を通って、残土捨て場の計画地へ運ぶ計画。可能であれば別ルートの確保にも努めたい。

問 保育所の前を通ると騒音が発生するが、新たなルートが決まるまで保育所の前を通る予定なのか。

答 新たなルートが決まってもまるつきり保育所の前を通らないと

役場庁舎本体、庁舎周辺の外溝工事、車庫兼書庫、車庫兼防災備蓄倉庫の実設計が完成し、3月末時点での工事費は、合計16億2千250万円となったが、まだ、人件費高騰、物価高騰が続いているので金額は変更となる。

消防庁舎本体、庁舎周辺の外構工事、防災倉庫の実設計が完成し、3月末時点での工事費については、合計8億3千721万円となったが、役場庁舎と同様に、工事発注入札時点での資材等の単価更正が必要となるため、金額が変更となる。



役場・消防庁舎建設場所の視察

議会運営委員会

5月31日開催

(欠席委員なし)



中嶋 茂 委員長



開催の様子

令和6年第2回(6月)定例会の運営に関する事項について審議。

☆定例会

提出となる案件等を勘案した結果、会期は、11日から12日までの2日間。

一般質問は、通告期限までに4名の通告があり、全て受理。

議事日程は、開会初日は各委員長報告及び一般質問等を行い散会。

12日午前には本会議を再開、議案等の審議。

12日午後には大間原子力発電所対策特別委員会を開催。

☆議案等の審議は

報告事項及び議案と

も全て、本会議において審議する。

☆人事案件の表決方法

無記名投票。

☆諮問

受理された陳情について審議した結果、今後の動向を注視し、資料配付とした。

陳情名「風間浦村長・

村議会議員選挙での選挙公報の発行に関する条例の制定を求める陳情書」、「ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情」。

☆その他

夏季の軽装について、6月1日から10月31日までの間に、開催される本会議並びに各委員会においては、ネクタイ及び上衣の着用を自由とした。

全員協議会

6月3日開催

(欠席議員なし)



能登 勝彦 議長



開催の様子

1. 核燃料物質等取扱 税交付金事業について

核燃料物質等取扱税交付金が5千867万7千円増の1億7千309万7千円となった。この交付金では、

9つの事業を計画している。(次頁表1)
問 「ゆかい村再発見プロジェクト事業」について詳しい説明をお願いします。

答 下風呂温泉の美容効果調査・40〜50代の女性をターゲットとして、美容専門家による現地調査等。有名アーティストを招聘したワークショップ・県内の有名アーティストを招聘、アート制作などを実施。

問 入浴リフトを取り替えるということは、げんきかんで入浴事業をずっと継続するということか。

答 現在、検討委員会で今後のげんきかんの活用方法等を検討してもらっているが、デイサービス事業(入浴事業含む)と見守り配食サービスは、やっていたきたいというのを条件につけている。

(表1) 交付金での9つの事業計画

No.	事業名	総事業費 (単位:千円)	交付金充当 予定額 (単位:千円)	事業概要
1	簡易水道維持運営事業	9,846	8,000	施設維持管理職員配置
2	保健事業	5,921	5,000	保健師の配置
3	消防庁舎等建設事業	907,161	40,000	庁舎の移転・建替整備
4	風間浦村防災安全対策・地域活性化基金造成事業	73,097	73,097	基金造成
5	有害鳥獣対策事業	3,830	3,000	有害鳥獣保護管理専門員の配置
6	未来へ繋ぐ海のプロジェクト事業	9,434	9,000	稚ナマコ放流事業
7	風間浦保育所運営委託事業	57,000	30,000	保育所の管理運営委託
8	ゆかい村再発見プロジェクト事業	2,449	2,000	下風呂温泉への誘客促進
9	デイサービス入浴リフト取替事業	4,162	3,000	入浴リフトの更新
合計		1,072,900	173,097	



2. 学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金事業について

この事業は、子育て費用の無償化を支援するため、県からの交付金により実施される事業で、当村の今年度の交付限度額は182万1千円。交付率は、学校給食無償化事業10割、その他市町村提案事業8割。(表2)

問 紙おむつの支給先は。

答 保育所及び各家庭

問 学校給食完全実施となった場合、今回の3事業の助成はどうなるのか。

答 実施となった場合、学校給食の無償化は行わなければならないが、今回の3事業も進めていかなければならない。

(表2) 学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金事業

No.	事業名	総事業費 (単位:千円)	交付金充当 予定額 (単位:千円)	事業概要
1	にこにこおむつ支援事業	678	461	紙おむつの現物支給
2	ミルク給食費無償化事業	770	770	学校給食ミルク代の全額助成
3	小・中学校修学旅行費助成事業	738	590	修学旅行費の一部助成
合計		2,186	1,821	

大間原子力発電所対策特別委員会

6月12日開催

(欠席委員なし)



北館 智明 委員長

電源開発(株)から

電源開発(株)大間原子力建設所より、藤田本部長他6名が出席し、

「新規制基準適合性審査の対応状況について」、「建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について」並びに「その他」の説明及び報告。

○新規制基準適合性審査の対応状況について

内陸地殻内地震のうち「F-14断層」及び「奥尻3連動を考慮し

た地震」の地震動評価結果については、原子力規制委員会からの理解を得られた。

「大間崎の隆起を考慮して想定する地震」の地震動評価方針については原子力規制委員会より「基本ケースの妥当性について、説明を充実させること。」等のコメントがあった。

津波発生要因の組み合わせに関する検討について、原子力規制委員会より概ね妥当な検討がなされたと評価された。

○建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

住民の訴訟は、第11回口頭弁論期日が3月12日に開催され原告が

準備書面等を提出、次回は7月9日を予定。函館市の訴訟は第32回口頭弁論期日が9月2日に予定されている。

○その他

社宅の整備は、現在、工事発注に向けた手続きを進めており、今後、手続きが整ったら、蛇浦地区の住民の皆様にご説明し、本年7月頃から工事を着手する予定。

工事にあたり必要となる資材の置き場は、隣接する村の村有地を使用。

仮宿舍整備にあたっては、地域住民の皆様のご理解を得ながら進める。

○委員からの質疑

住民説明会は是非、開催していただき、住民の理解を得ていただきたい。

○電源開発(株)から

住民説明会は、準備が整い次第行う。



開催の様子

村政を問う！ 一般質問

一般質問とは、定例会（臨時会は除く。）において、議員が、あらかじめ通告して、村の施策の状況や方針について、報告・説明を求めたり質問することです。

当村議会においては、一般質問者の持ち時間は1時間に制限されています。

今期定例会では、4名の議員が登壇しました。



金森 一規 議員

観光について

A

村長

令和3年度には、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催ができず、代替イベントとして鮫鯨フェアを実施している。一定期間において村内の飲食店で鮫鯨の鍋や唐揚げ、とも和えなどを、それぞれの店の味で村内外の方へ提供し、事業者には経費の一部を村が補助するものであった。マスコミにも取り上げられ、約1千500人の方が来村し、鮫鯨料理を食していただいたことから、どんぶり祭り

Q

観光は裾野が広い分野であり、新しいアイデアの発見やまだ見ぬ人材の発掘、関係者間の連携強化が不可欠である。観光客の滞在時間を延ばし、消費金額を上げることが目的に地域資源を使いこなすこと、観光資源を有効に活用するには、旅程の隙間に地域らしさを体感できる旬の体験を通じて「想定外の楽しみ」を提供することがポイントである。村としては、下風呂温泉郷の賑わい創出が必要であると考えているようだが「何を」「どのよう」「いつまでに」行うのか。

A

村長

現在、下風呂温泉郷で開催している観光イベントは、7月の「ゆかい村海鮮どんぶり祭り」、2月の「鮫鯨感謝祭」であり、村内外から多くの人が訪れ、交流人口の拡大につながっている。しかし、一日で終了する一過性のイベントの為、地場産品PRの目的では効果があるものの、長期的な展開を考えるとまだ不足している。

令和3年度には、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催ができず、代替イベントとして鮫鯨フェアを実施している。一定期間において村内の飲食店で鮫鯨の鍋や唐揚げ、とも和えなどを、それぞれの店の味で村内外の方へ提供し、事業者には経費の一部を村が補助するものであった。マスコミにも取り上げられ、約1千500人の方が来村し、鮫鯨料理を食していただいたことから、どんぶり祭りと同等な集客数があり十分なPR成果が得られた。

下風呂温泉郷の賑わい創出については、年間を通してこのようなフェアを四季折々の異なる食材を活用して行うことで、観光客等を誘客することが有効な対策であると捉えている。

風間浦村の旬な食材を活かしたものを手軽に食せるような施策の展開により、観光客等が増えることで交流人口の拡大につながり、さらには滞在型観光にも結び付くと考えている。このような施策は漁業協同組合や飲食店、宿泊業者、観光協会などの団体が連携して実施することが望ましいので、地元の関係団体が連携しやすい体制づくりを行政側がサポートしていく。

賑わい創出の事業展開については、すでに始めている事業もあり、今後さらに関係団体等と連携しながらバージョンアップを図っていく。今年度は、ホテル旅館業の事業継承の一環として、地域おこし協力隊の導入による「地域おこし協力隊インターンシップ募集業務委託事業」を当初予算に計上のほか、下風呂温泉への誘客を図るための「ゆかい村再発見プロジェクト事業」の実施に係る経費を6月補正予算に計上している。食だけではなくアクティビティ（体験型レジャー）も併せた取り組みも有効であると考え、下北地域全体で取り組むべきと捉えていることから中長期的に検討を進めていく。



越膳 喜好 議員

1. 養殖漁業について
2. 地域おこし協力隊について

A

村長

別形態での養殖漁業を考えているのかについては、全国的には、マグロやサーモンなどの魚類からウニなどの貝類等々、多種多様で漁業者に限らず企業でも事業を展開している事例がある。当村においても、需要が高いサーモンの養殖事業または、その他の養殖事業の可能性について、漁協と連携しながら情報収集や調査を進め、持続可能なつくり育てる漁業の推進を図りたいと考えている。

Q

今後において、この海面養殖漁業の規模を拡大していくのか、あるいは別形態での養殖漁業を考えているのか、お聞かせください。

現在、稚ナマコ放流事業を風間浦漁協易国間本所および蛇浦、下風呂の各支所で実施している。規模の拡大については、計画期間の最終年度の令和7年度モニタリング調査の結果を踏まえ漁協が関係機関と協議し決定する。

易国間本所で実施しているウニの畜養事業は、収益も出ており、売上金から日当として漁業者に賃金を支払っているため、引き続き、漁協の自主事業で取り組んでいただければと思う。この事業は現漁場での数量的な拡大は厳しいが、新たな漁場を追加し事業を拡大することは可能であると捉えている。いずれにしても、漁業協同組合が自主的に進める事業であるが、村としては出来る範囲で最大限の支援をしている。

A

村長

風間浦村の地域課題の解決に向けて協力隊員を受け入れ、村の活性化及び地域おこしを図りながら、新たに産業を興すこと、更には隊員の定住定着につながることを、最終目標であると思っている。令和5年度は、下風呂温泉宿泊施設で「お試し女将事業」、今年度は「地域おこし協力隊インターンシップ事業」を計画している。複数の隊員を受け入れるためには、課題の抽出はもとより、隊員の住居確保、お互いの目的をマッチングさせるための内容設計等が優先される。まずは、住居の確保を進めると同時に、受け入れるための活動分野の洗い出し、又は、1つに絞らず、複数の分野で複数人を受け入れるのか等、様々な項目において、内容設計を関係機関の皆さんのご助言をいただきながら検討する。



Q

新たな構想を実践していくための人材が不足している。このような課題を解決する一翼を担えるのが地域おこし協力隊である。今後、村として、地域おこし協力隊の活用についてどのような取り組みをしていくのか。



中嶋 茂 議員

1. 庁舎及び公民館移転後の集会施設について
2. 旧青い森信用金庫風間浦出張所の利活用について

A

村長

現在は、防災備品や書類等を保管し利用している。新庁舎完成後は、防災備品や書類等は新庁舎に移動する。1階にトイレが無いいため集会施設での利用には新たにトイレを整備する必要があり、他、駐車場スペースがない等の問題があるので、建物の利活用、維持管理などを含め、どのようにすれば経費を少なく有効活用できるか、さらには、村内外の企業への貸出や売却など庁内で検討を進めている。

Q

先どのような利活用されるのか。

A

村長

全部で352回使用、内訳は役場関係267回、易国間地区の団体等85回。

Q

令和5年度の中央公民館の使用回数は。

A

村長

早い段階で新庁舎までの交通手段についての意見、ご要望などを含めて協議を進めたい。

Q

易国間自治会等の意見交換・協議は。

A

村長

新役場庁舎の一階部分に研修室を配置するので、皆様に活用していただきたい。

Q

易国間地区に集会所が無くなることから村はどのように考えているのか。



北舘 智明 議員

村長就任2期目の総括について

A

村長

津波浸水区域の大幅な見直しがあり、役場・消防庁舎の移転整備地の計画の見直しを余儀なくされ、再度、庁舎建設検討委員会での審議・答申、議会特別委員会での審議、村民への説明会等を経て、移転整備地を古野地区高台に決定し手続きを進めている。今年度より、いよいよ造成工事がスタートした。

二期目の総括としては、最優先課題として取り組んだ、コロナ対策・豪雨災害対応・浸水区域の見直しによる役場・消防庁舎の移転整備地の変更について、多くの方々からのご協力・ご支援により、何とか対応できた。

その他の施策については、コロナ禍で行動が制限され、思い描いた施策を十分には展開できなかった。あえて、点数をつけるとすれば、コロナ禍と豪雨災害対応を加味すれば、自己評価では及第点ギリギリであるのかなと思っている。

Q

2期目の任期は、まだ半年ほどあるが、現段階での二期目の総括をお聞かせいただきたい。

村長としての二期目は、無投票により当選し、スタートした。まずは、村民への新型コロナウイルス感染症対応ワクチン接種に全力で取り組み、関係機関の協力により全国的にも早いスタートができた。

風力発電及び温泉

6月12日

昨年末に行われた住民懇談会で意見が出た、「風力発電」及び「温泉」についての話し合いが幾度か行われ、6月12日には、風力発電について「規制等は難しい。」「知識を得るための資料配付を行う。」ということになりました。

温泉については、営業時間の延長した場合のモニタリングをしてもらい、その結果と営業状態等を考慮し、料金も合わせて、総務常任委員会で検討することとなりました。



議会活動

漁協・議会・行政による

福島第一原子力発電所視察

5月15～16日

5月15～16日、福島第一原子力発電所を視察しました。現在、福島第一原子力発電所構内の放射線量は大幅に低下し、96%のエリアで平服での作業が可能になっているそうです。

ALPS処理水については、安全基準を満たすまで浄化処理されているため、海洋放出によって、人体や環境に影響を及ぼすことは考えられないとのことです。

これまでの取り組みにより、周辺海域の水質は大きく改善し、世界的な飲料水の水質基準を十分に満たしているそうです。



福島第1原子力発電所～廃炉作業が進められている1～4号機の近くで～



ALPS処理水等の説明を聞く参加者



能登議長と蛸島副議長

令和6年度町村議会議長・副議長研修会

5月21日

5月21日、東京国際フォーラムにおいて、全国約2千名の町村議会議長・副議長等が参加し、令和6年度町村議会議長・副議長研修会が開催されました。

研修会では「議員のなり手不足は「住民自治の危機」…その打開の道を探る」と題した、町村議会議員のなり手不足対策検討会委員長（大正大学教授）江藤俊昭氏の講演などが開催されました。



研修に参加した広報委員

町村議会広報研修会

5月29日

青森県町村議会議長会主催の「町村議会広報研修会」が、5月29日（水）、青森県労働福祉会館で開催され、当議会広報編集委員5名が参加しました。

研修会では、「広報紙制作の基本ポイント」と題し、グラフィックデザイナー 長岡光弘氏の講演が行われました。研修会で学んだことを少しでも「かざまうら議会だより」の編集に役立てていきます。

○議会を傍聴しませんか。

議会の傍聴を希望する方は、議会開会当日、役場総務課で、住所及び氏名を申し出て、傍聴人受付簿に記入を行ってください。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

○会議録の閲覧

一般質問のQ&Aを詳しくご覧になりたい方は、議会事務局で会議録の閲覧が可能となっております。

閲覧希望の方は、議会事務局までお問合せ下さい。

役場内議会事務局
(電話)

351-2111



ちよつと一言

蛇浦地区避難所（旧蛇浦小学校）清掃

小学校が統合してから9年が経ちました。蛇浦小学校と下風呂小学校は避難所として今に至ります。

蛇浦の旧小学校は現在、自治会事務所としても活用されており、年に数回、自治会員によって校内の清掃が行われています。

他にも活用できれば、校舎も喜ぶことでしょう。
（文責・蛸島 巨）



二宮尊徳像



体育館の天井



廊下

編集後記

最近ふと思うことは、新しい知識を1つ得ると、今までの知識が2つくらい抜けていくようだ。毎日1つ新しい知識を得ると1年で365の知識が得られるが、しかし2つ抜けるから730もの知識が失われていく？そのうち脳みそからっぽになるのかな？いや抜けるのはカビの生えた古い知識だから、新しい知識を得れば、きっと脳が活性化することに違いないなんて、良い方にとろう、皆さんも頑張って新しい知識を吸収して、年をとっても若々しい脳にしましょう。

（文責・越膳喜好）

議会広報編集委員会

委員長 越膳 喜好

副委員長 山本 聡

委員 中嶋 茂

北館 智明

蛸島 巨

傍聴
しましょう!

